

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010300		事業の種類		0	
年度	1	事務事業名	土地利用規制等対策事業	予算事業名	土地利用規制等対策事業	優先度	—
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	大西	担当者名	今井
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	国土法届出件数	件	2	4	4	3
	公拡法届出件数	件	0	3	1	0
	用地取得面積	m ²	0	0		0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	679,832	667,100	98	670,309	100	649,341	97	
	事業費	0	1,780	-	1,795	101	5,000	279	
	合計	679,832	668,880	98	672,104	100	654,341	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	17,000	11,000	65		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	662,832	657,880	99	672,104	102	654,341	97	
	合計	679,832	668,880	98	672,104	100	654,341	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減							
指標説明(式)		国土法届出件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	—	0	—	3	—	
	実績	2	4	200.0	4	100.0			
指標名2		届出件数の増減							
指標説明(式)		公拡法届出件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	—	0	—	0	—	
	実績	0	3	—	1	33.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

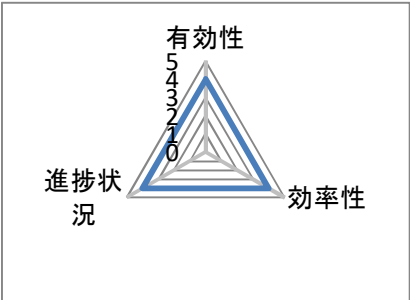
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	4
効率性	執行体制の効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	届出内容について、県との連絡調整が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県との連絡調整の強化。

配点	32.5
総合評価	12

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050101010400	事業の種類		3		
年度	1	事務事業名	都市計画基礎調査事業	予算事業名	都市計画基礎調査事業	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生市都市計画マスタープラン見直し事業		都市計画地形図修正事業				
		都市計画道路整備事業		緑の基本計画の見直し事業				
根拠法規及び関連法規		都市計画法第6条(県からの協力要請)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。						
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々						
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	都市計画基礎調査	件	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.492	0.656	133	0.536	82	0.656	122		
	臨時職員			-	0.120	-		0		
支出内訳	人件費	4,168,368	5,246,444	126	4,641,749	88	5,267,493	113		
	事業費	115,440	99,853	86	98,125	98	106,000	108		
	合計	4,283,808	5,346,297	125	4,739,874	89	5,373,493	113		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金		270,000	-	270,000	100	137,000	51		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	4,283,808	5,076,297	118	4,469,874	88	5,236,493	117		
	合計	4,283,808	5,346,297	125	4,739,874	89	5,373,493	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	270000	270000	100.0	270000	100.0	137000	50.7	
	実績	270000	270000	100.0	270000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

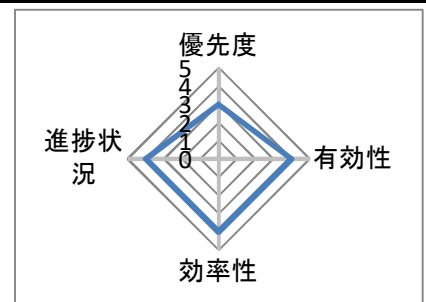
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	この調査は、県の事務を市もデータ利用するため、委託を受けて実施しているが、委託料が減少傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	基礎調査に必要なデータを建築係、農業委員会、各道路管理者からデータを提供の上、作業を行うが、効率よく実施する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	委託内容の改善もしくは、委託料の適正化(県に対する要望)
見直し事項	法令等で実施が義務付けられている事務事業のため見直し事項はなし
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050101010500		事業の種類		1
年度	1	事務事業名	屋外広告物取扱事業	予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	大西	担当者名	今井
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		隔週1回(月2回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	除却件数	件	28	3	1	10
	掲出審査件数	件	206	254	164	250

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.192	0.192	100	0.192	100	0.192	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,852,968	1,797,068	97	1,793,589	100	1,788,885	100	
	事業費	559,560	548,196	98	280,368	51	317,000	113	
	合計	2,412,528	2,345,264	97	2,073,957	88	2,105,885	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	359,800	535,500	149		0		-	
	一般財源	2,052,728	1,809,764	88	2,073,957	115	2,105,885	102	
	合計	2,412,528	2,345,264	97	2,073,957	88	2,105,885	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減							
指標説明(式)		除却件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	28	3	10.7	1	33.3			
指標名2		掲出許可件数の増減							
指標説明(式)		掲出許可件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	200	200	100.0	200	100.0	250	125.0	
	実績	206	254	123.3	164	64.6			

【効率性】

指標名1		仕事作業効率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		(除却件数+掲出許可件数)／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.3	0.4	133.3	0.4	100.0	0.4	100.0	
	実績	0.63	0.69	109.5	0.44	63.8			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うとともに適正な屋外広告物の掲出につなげることで、良好な生活環境の整備が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必用な施策である。	
効率性	コストの節減	仕事作業効率が向上している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	違法なものがあっても、業者の協力が無ければ是正に至らない。

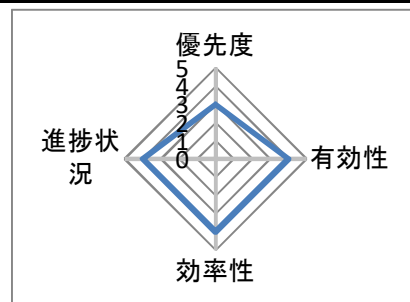
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	屋外広告物の台帳による管理を行い、整理していく。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010600	事業の種類	6
年度	1	事務事業名	東部土地区画整理事業	予算事業名	東部土地区画整理事業
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部都市整備課
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	名倉 禎庸
		取組み事項	計画的な都市空間を形成する	実施計画への記載	無
		実施計画事業名		担当者名	藤岡 周平
				主要事業の指定	無
		根拠法規及び関連法規	土地区画整理法		
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者			
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成27年度に東部土地区画整理事業の廃止を行った。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		組合施行による土地区画整理事業の事業の廃止を行った。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	準備委員会等	回	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.006	0.008	133	0.004	50	0.008	200
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	417,420	429,212	103	404,269	94	409,437	101
	事業費	0	0	-	0	-		-
	合計	417,420	429,212	103	404,269	94	409,437	101
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	417,420	429,212	103	404,269	94	409,437	101
	合計	417,420	429,212	103	404,269	94	409,437	101

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		準備委員会開催							
指標説明(式)		準備委員会開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

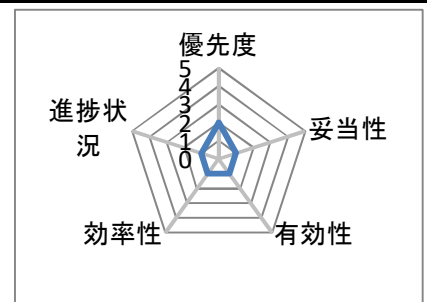
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
効率性	手段の最適性	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年度に東部区画整理事業の廃止を行った。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成27年度に東部区画整理事業の廃止を行った。

配点	32.5
総合評価	8.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容					
重点事項	事業の廃止のため特になし					
見直事項	事業の廃止のため特になし					
新規事項	事業の廃止のため特になし					
方向	廃止	成果	縮小	総コスト	縮小	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010700		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	特別指定区域事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したところのある地縁者であれば住宅建設が可能。					
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	土地利用計画策定	件	0	0	1	0
	特別指定区域の作成	件	0	0	0	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.404	0.560	139	0.464	83	0.320	69	
	臨時職員			-	0.140	-		0	
支出内訳	人件費	3,489,184	4,532,780	130	4,160,669	92	2,748,501	66	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,489,184	4,532,780	130	4,160,669	92	2,748,501	66	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,489,184	4,532,780	130	4,160,669	92	2,748,501	66	
	合計	3,489,184	4,532,780	130	4,160,669	92	2,748,501	66	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	令和元年度に土地利用計画の改定を行った。この計画に即した特別指定区域を検討し、市街化調整区域の街づくりを推進する。

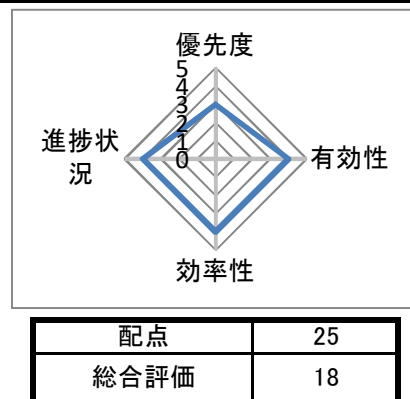
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	土地利用計画に沿った市街化調整区域の土地利用が進められるように、計画の周知を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010800		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	地区計画決定事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者					
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項					
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	決定地区件数	件	0	0	0	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.048	0.044	92	0.020	45	0.032	160	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	794,256	696,836	88	522,509	75	589,365	113	
	事業費			-		-		-	
	合計	794,256	696,836	88	522,509	75	589,365	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	794,256	696,836	88	522,509	75	589,365	113	
	合計	794,256	696,836	88	522,509	75	589,365	113	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地区計画決定件数							
指標説明(式)		地区計画決定件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

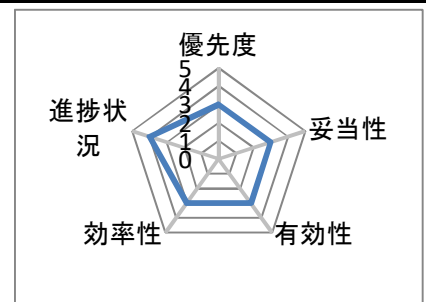
指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)		地区計画決定に当たり、権利者との協議等に要する時間							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	3
効率性	執行体制の効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	計画決定候補地が少ない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	地域から相談等があった場合は対応できるよう、準備を整えておく。

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050101010900		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	地籍調査事業	予算事業名	地籍調査事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部農林水産課				
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	長治 宏幸		担当者名	松下 亮太	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名		地籍調査事業(システム含む)							
根拠法規及び関連法規		国土調査法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 (土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)							
	誰(何)を対象として	土地所有者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	地籍調査地区数	地区	3	4	4	4	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	1.616	2.220	137	0.936	42	1.016	109	
	臨時職員	0.920		0	0.876	-	0.650	74	
支出内訳	人件費	15,266,680	16,873,220	111	9,525,549	56	8,916,713	94	
	事業費	8,354,430	22,197,865	266	24,232,576	109	32,793,680	135	
	合計	23,621,110	39,071,085	165	33,758,125	86	41,710,393	124	
財源内訳	国庫支出金	3,766,000	14,051,000	373	10,275,000	73	14,591,000	142	
	県支出金	1,883,000	5,525,500	293	5,677,000	103	11,450,000	202	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,972,110	19,494,585	108	17,806,125	91	15,669,393	88	
	合計	23,621,110	39,071,085	165	33,758,125	86	41,710,393	124	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		事業費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12029000	26010000	216.2	25800000	99.2	29582000	114.7	
	実績	8354430	22197865	265.7	20950000	94.4			
指標名2		進捗率							
指標説明(式)		地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	14.3	15.1	105.6	16	106.0	16.8	105.0	
	実績	14.3	15.1	105.6	16	106.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

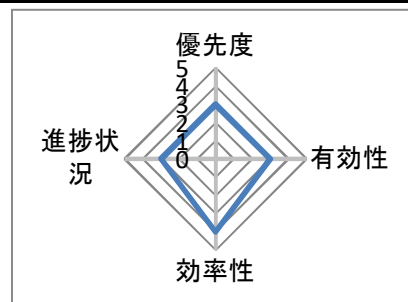
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標より、交付金の減額等により一部工程が遅れた。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により、効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画より一部の工程が遅れた。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	国からの交付金が減額されたことにより、事業の推進が遅れた。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事業執行をより確実なものにするため、研修等に積極的に参加し、担当者のスキルの向上を図る。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	地籍調査事業を推進して、当初計画に合致させるには、事業量を拡大する必要がある、人員増による体制強化が必要。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050101011000		事業の種類		1
年度	1	事務事業名	都市計画議事運営事業	予算事業名	都市計画総務費	事務経費	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定		無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々						
	誰(何)を対象として	市の都市計画について						
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	都市計画審議会開催	回	2	0	2	3

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.580	0.720	124	0.592	82	0.720	122	
	臨時職員			-	0.160	-		0	
支出内訳	人件費	4,847,552	5,722,220	118	5,157,589	90	5,747,301	111	
	事業費	367,752	56,332,941	15,318	4,038,467	7	1,099,000	27	
	合計	5,215,304	62,055,161	1,190	9,196,056	15	6,846,301	74	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,215,304	62,055,161	1,190	9,196,056	15	6,846,301	74	
	合計	5,215,304	62,055,161	1,190	9,196,056	15	6,846,301	74	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数							
指標説明(式)		実施開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	0	0.0	2	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

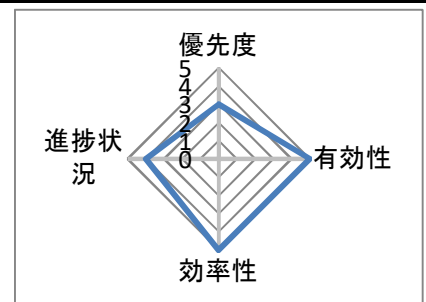
指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(委員報酬)÷開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	54000	54000	100.0	54000	100.0	54000	100.0	
	実績	46100	0	0.0	49900	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的な運営を図っている。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察を廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	審議会委員の非公開から公開への移行。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	審議会議事運営要綱の施行に伴い、審議会は、原則公開としている。

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050101011100		事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	土地区画整理事務事業	予算事業名	土地区画整理事務経費	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業施行者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。						
	誰(何)を対象として	事業施行者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	研修会等旅費	千円	0	0	0	35
	協議会等負担金	千円	29	25	25	25

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	事業費	29,000	25,000	86	25,000	100	60,000	240	
	合計	400,112	394,740	99	399,709	101	409,461	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	400,112	394,740	99	399,709	101	409,461	102	
	合計	400,112	394,740	99	399,709	101	409,461	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度と同額である。	3
効率性	コストの節減	令和元年度は研修会出席を見送った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市内の土地区画整理事業が平成29年度で終了した一方で、土地区画整理事業に携わった職員が減少し、知識の継承が難しくなっていく。

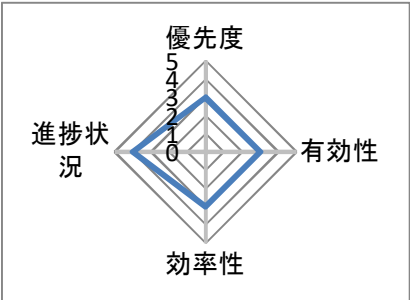
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	土地区画整理事業は、都市計画を実行する一つの手段であり、知識として身につけておく必要があるため、研修会への出席等を行い、知識の継承を図っていく。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101020200		事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	相生駅南地区街づくり助成事業	予算事業名	相生駅南地区街づくり助成事業	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		都市核を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の商業地区における土地及び建物の所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の商業地区において、要件を満たした建物を建築した場合に、その建築物及び敷地。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業地内の商業地区において、土地の有効利用を促進することにより、駅前の高度利用を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南地区画整理事業区域内の商業地域内で、土地使用収益開始の日から5年以内に、「相生駅南地区建築行為等の遵守基準」に適合し、かつ地上4階建以上で1階から4階までの各階床面積が200㎡を超える建築物の所有者及び土地所有者に、対象建築物とその敷地となる土地					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	助成金額	千円	3979	3955	3952	0	
	助成件数	件	1	1	1	0	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員		0.024	-	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	371,112	548,156	148	552,069	101	529,389	96	
	事業費	3,979,000	3,955,000	99	3,952,000	100		0	
	合計	4,350,112	4,503,156	104	4,504,069	100	529,389	12	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,350,112	4,503,156	104	4,504,069	100	529,389	12	
	合計	4,350,112	4,503,156	104	4,504,069	100	529,389	12	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成土地利用率							
指標説明(式)		(助成決定面積による)助成対象土地面積/駅南商業地全体面積(31,000㎡)×100 H21=(650+747+905+637)/31,000×100=9.5							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

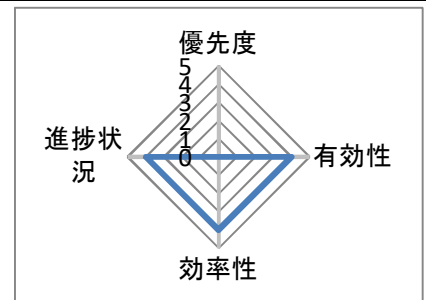
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	駅前地区の高度利用が図られた。	4
効率性	執行体制の効率性	助成対象となる土地の評価額等の動向を読み、今後の事業費の予測を的確に把握した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	大規模な建物が建設されることにより、高度化が図られた。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	助成期間が終了し、助成対象となる建物が無くなった。事業廃止を検討する。

配点	25
総合評価	12

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	廃止	成果		総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030200		事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	経由進達事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	県					
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への経由進達					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	確認申請受付件数	件	4	3	4	
	調査依頼件数	件	125	130	90	
	大規模建築物届出件数	件	1	4	2	
	建基法・都計法許認可申請	件	18	6	8	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.596	745	0.304	51	0.320	105	
	臨時職員	0.160		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,409,992	4,800,404	340	2,621,269	55	2,748,501	105	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,409,992	4,800,404	340	2,621,269	55	2,748,501	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,409,992	4,800,404	340	2,621,269	55	2,748,501	105	
	合計	1,409,992	4,800,404	340	2,621,269	55	2,748,501	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		確認申請1件あたり調査書作成手数料							
指標説明(式)		(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	2885	3060	106.1	2943	96.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

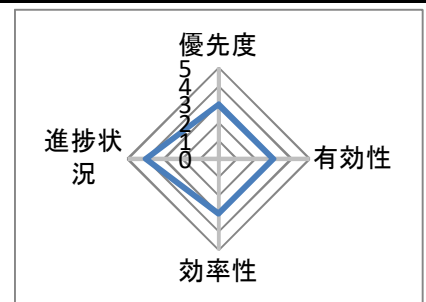
指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(56 時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	5	18	360.0	14	77.8			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691 時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	6	6	100.0	7	116.7			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市ということで経由しており、関与の必要性が薄い経由事務がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030300	事業の種類	1
年度	1	事務事業名	開発行為関連事業	予算事業名	優先度
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部都市整備課
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	名倉 禎庸
		取組み事項	住環境の整備と保全を行う	実施計画への記載	無
				担当者名	名倉 禎庸
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		都市計画法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人			
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請			
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達			

2 事業の概要 Do

実施の概要		開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	32条協議申請	件	5	4	5	
	29条申請	件	5	4	4	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.540	0.660	122	0.653	99	0.648	99
	臨時職員	0.012		0		-		-
支出内訳	人件費	4,570,440	5,276,180	115	5,200,379	99	5,207,517	100
	事業費			-		-		-
	合計	4,570,440	5,276,180	115	5,200,379	99	5,207,517	100
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	4,570,440	5,276,180	115	5,200,379	99	5,207,517	100
	合計	4,570,440	5,276,180	115	5,200,379	99	5,207,517	100

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

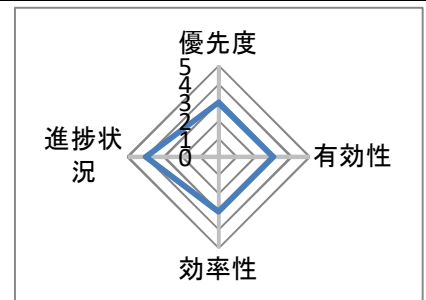
指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	108	135	125.0	108	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課及び関係機関との協議方法



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係各課及び申請代理人を交えて調整会議を開催し、情報共有や課題の把握を行う。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030400		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地					
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	認定件数	件	0	0	0	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.012	0.016	133	0.024	150	0.028	117	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	484,800	488,684	101	552,069	113	559,377	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	484,800	488,684	101	552,069	113	559,377	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	484,800	488,684	101	552,069	113	559,377	101	
	合計	484,800	488,684	101	552,069	113	559,377	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-			

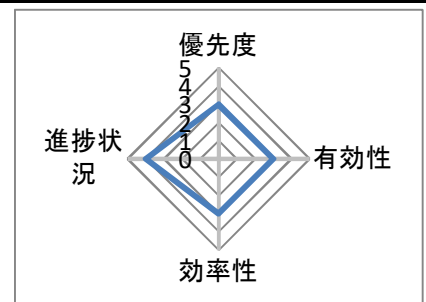
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	制度の必要性が薄れてきている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	制度がなくなれば事業廃止				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030500		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	地区計画適合審査事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	受付認定件数	件	5	1	7		

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.084	0.172	205	0.136	79	0.156	115	
	臨時職員	0.060		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,177,464	1,648,388	140	1,379,749	84	1,518,993	110	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,177,464	1,648,388	140	1,379,749	84	1,518,993	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,177,464	1,648,388	140	1,379,749	84	1,518,993	110	
	合計	1,177,464	1,648,388	140	1,379,749	84	1,518,993	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	44	221	502.3	31	14.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	3
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

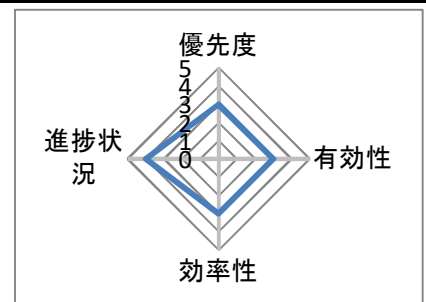
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	区域内の土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	届出後の変更等により、適合していないものがないか、現地確認が必要。



配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030600		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	道路判定台帳整備事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		建築基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	書込路線件数	件	5	5	5	
	閲覧件数	件	196	189	166	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.236	295	0.160	68	0.196	123	
	臨時職員	0.080		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,199,272	2,124,164	177	1,557,109	73	1,818,873	117	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,199,272	2,124,164	177	1,557,109	73	1,818,873	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,199,272	2,124,164	177	1,557,109	73	1,818,873	117	
	合計	1,199,272	2,124,164	177	1,557,109	73	1,818,873	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数							
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	196	189	96.4	166	87.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	3
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

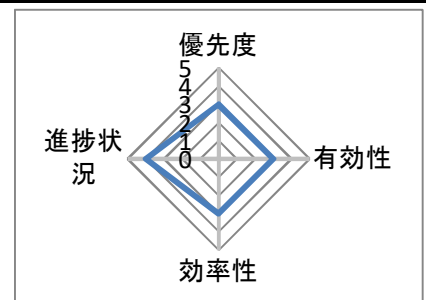
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	建築基準法上の道路であるかの判定結果を閲覧に供しているが、未判定の道路が多くある。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報を前もって準備、提供する。



配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030700		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	市有建物営繕事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課					
	誰(何)を対象として	市有建物					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市有建物					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	委託件数	件	1	0	2	
	営繕工事件数	件	4	9	10	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	1.140	0.380	33	0.996	262	1.060	106	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	9,169,632	3,194,660	35	7,735,149	242	8,296,281	107	
	事業費			-		-		-	
	合計	9,169,632	3,194,660	35	7,735,149	242	8,296,281	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,169,632	3,194,660	35	7,735,149	242	8,296,281	107	
	合計	9,169,632	3,194,660	35	7,735,149	242	8,296,281	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(2635時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	419	82	19.6	160	195.1			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

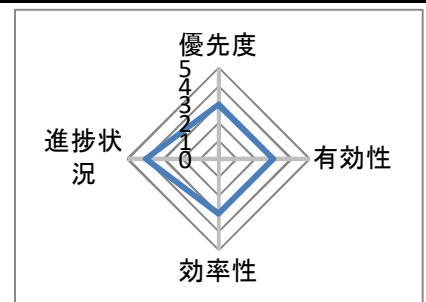
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	耐震、破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命化を図る工事が行われない傾向がある。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	建物の延命化、施設の環境改善を図る工事の提案をし、施設管理者に予算措置を依頼する。



配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030800		事業の種類		9	
年度	1	事務事業名	住環境整備費事務経費	予算事業名	住環境整備費事務経費	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.024	0.036	150	0.072	200	0.140	194	
	臨時職員	0.040		0		-		-	
支出内訳	人件費	661,704	637,364	96	906,789	142	1,399,041	154	
	事業費	108,480	181,660	167	174,579	96	202,000	116	
	合計	770,184	819,024	106	1,081,368	132	1,601,041	148	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	770,184	819,024	106	1,081,368	132	1,601,041	148	
	合計	770,184	819,024	106	1,081,368	132	1,601,041	148	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

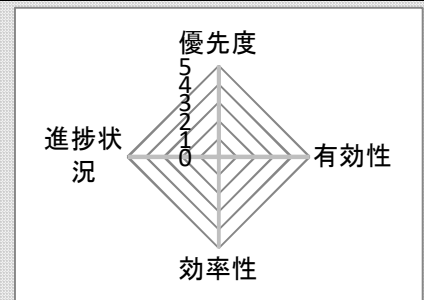
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050101030900		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	空き家対策事業	予算事業名	空家等対策事業	優先度	4	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載		有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		空き家対策事業						
根拠法規及び関連法規		空家等対策の推進に関する特別措置法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	空家等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	空家等を適正管理することで、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		空家等実態調査等により空家件数を把握し、適正管理を促す また、優良空家の利活用、老朽危険空家の除却を進める。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	空家件数	棟	816	985	975	975
	空家利活用相談	件	6	23	25	25
	空家苦情相談	件	43	35	37	30
	指導による改善	件	30	28	26	25

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.824	0.724	88	0.780	108	0.780	100	
	臨時職員	0.160	0.068	43		0		-	
支出内訳	人件費	7,152,184	5,940,248	83	6,138,909	103	6,197,121	101	
	事業費	2,397,490	1,548,586	65	2,683,375	173	10,421,000	388	
	合計	9,549,674	7,488,834	78	8,822,284	118	16,618,121	188	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,549,674	7,488,834	78	8,822,284	118	16,618,121	188	
	合計	9,549,674	7,488,834	78	8,822,284	118	16,618,121	188	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空家判定D判定(老朽危険空家等)の件数							
指標説明(式)		地域住民の安全のためD判定の空家(老朽危険空家等)の解消を促す							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
棟	目標	25	25	100.0	20	80.0	10	50.0	
	実績	26	19	73.1	14	73.7			
指標名2		空家指導による改善率							
指標説明(式)		空家苦情相談のあった案件について指導し所有者が改善を行った割合 計算式 指導による改善件数/空家苦情相談件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0	80	100.0	
	実績	69.8	80.0	114.6	70.3	87.9			

【効率性】

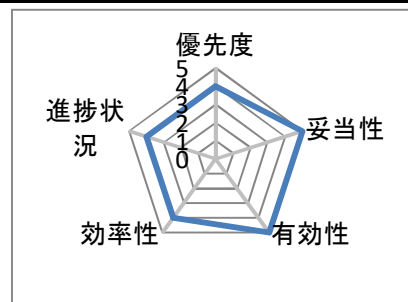
指標名1		空家等相談会の開催							
指標説明(式)		空家の所有者や相続人等を対象とした空家等相談会の開催							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0		0.0	
	実績	0	5	-	1	20.0			
指標名2		空家の利活用の促進							
指標説明(式)		空き家バンク契約件数+空家活用支援事業件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	6	3	50.0	8	266.7			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	空家等対策事業により、老朽危険空家の除却を促進し管理不全空家の解消を図る。また、優良な空家の利活用を進める等により、市民の安全・安心を確保すると共に、地域の活性化を図る。	5
	成果の向上	空家が増加し苦情相談も増える中、状況把握や所有者への指導を適切に行い状況の改善が進んでいる。また、空き家バンクを通じての売買や空家活用支援事業の実績も出ており、事業の成果は向上している。	
効率性	手段の最適性	空家相談会等による情報の提供空き家バンクの運営、空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業等を行い、空家の課題に対し効果的に対応が進められている。	4
	執行体制の効率性	兵庫県、弁護士会、不動産鑑定士協会等各種関係団体と連携し、相互に情報提供を行い、効果的・効率的な事業運営ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生市空家等対策計画に基づき、情報の提供や必要な支援(空家活用支援事業、老朽危険空家除却支援事業、空家相談等)を行い、空家等対策の推進が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	空き家等の適正管理の促進を行っていく必要がある



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	空き家等の業務については、専門的な部分もあるため各専門家との連携体制を整える必要がある

配点	32.5
総合評価	28.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	空家等の業務については、専門的な部分もあるため各専門家との連携体制を整える必要がある
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101031000		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	住宅耐震改修促進事業	予算事業名	住宅耐震改修促進事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		耐震診断を実施した住宅に対する、耐震改修工事費等を助成する。 平成28年度まで県事業の上乗せ補助のみであったが、平成29年度より県事業から市の事業へ移管された。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	申請件数	件	1	1	0	9	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.320	320	0.164	51	0.220	134	
	臨時職員	0.140		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,511,672	2,748,620	182	1,586,669	58	1,998,801	126	
	事業費	500,000	1,400,000	280	0	0	5,700,000	-	
	合計	2,011,672	4,148,620	206	1,586,669	38	7,698,801	485	
財源内訳	国庫支出金	250,000	700,000	280	0	0	2,850,000	-	
	県支出金	125,000	600,000	480	0	0	2,300,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,636,672	2,848,620	174	1,586,669	56	2,548,801	161	
	合計	2,011,672	4,148,620	206	1,586,669	38	7,698,801	485	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		改修工事申込件数							
指標説明(式)		改修工事申込件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

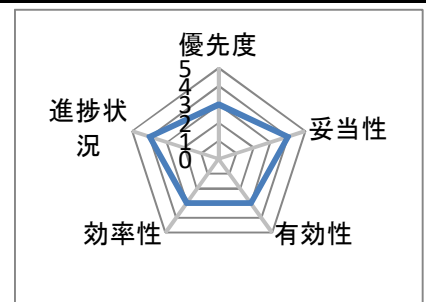
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震改修工事を行い、地震に対する安全性を確保してもらう	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が耐震改修工事費等の助成を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	処理件数により、コストが増減する



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	作業能率の向上によりコスト縮減を図る。

配点	32.5
総合評価	22

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050101040200		事業の種類		2
年度	1	事務事業名	再開発住宅管理事業	予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	大西	担当者名	今井
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		再開発住宅管理事業			再開発住宅管理事業		
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者					
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	再住維持管理費	千円	2211	1186	1011	2255
	再住家賃収入	千円	17340	15669	16875	16738

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員	0.200	0.220	110	0.240	109	0.180	75	
支出内訳	人件費	1,824,072	1,871,000	103	1,873,509	100	1,512,261	81	
	事業費	2,210,671	2,075,257	94	1,927,705	93	3,340,000	173	
	合計	4,034,743	3,946,257	98	3,801,214	96	4,852,261	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,034,743	3,946,257	98	3,801,214	96	4,852,261	128	
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-	
	合計	4,034,743	3,946,257	98	3,801,214	96	4,852,261	128	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	87	80	92.0	87	108.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

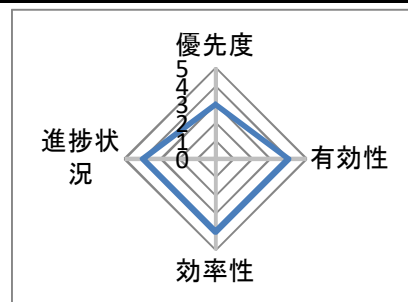
指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再住家賃収入／再住維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	500	600	120.0	600	100.0	697	116.2	
	実績	784	1321	168.5	1669	126.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	4
効率性	コストの節減	施設の修繕が増加傾向にある中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	建物の老朽化に伴い維持管理経費が増加傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で優先度を見極めながら対応する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	屋上防水、外壁塗装等の大規模な修繕が必要となる。				
見直し事項	今後入居者が減少するようであれば家賃の見直しを検討する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号		050101040300		事業の種類		2							
年度		1	事務事業名		市営住宅維持管理事業		予算事業名		公営住宅維持管理事業		優先度		3			
			まちづくり目標			自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名		建設農林部建設管理課					
			施策名(中)			秩序あるまちづくりを推進する			担当課長		大西		担当者名		今井	
			取組み事項			定住促進と居住水準の向上を図る			実施計画への記載		有		主要事業の指定		無	
			実施計画事業名			公営住宅整備事業					公営住宅管理事業					
			根拠法規及び関連法規			公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則										
事業の目的	誰のために(具体的に)		市内に住所地又は勤務地を有する者													
	誰(何)を対象として		住宅に困窮する低額所得者													
	意図(どのような状態にしたいのか)		低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。													

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃でもって健康で文化的な生活を営むに足る住宅を提供するため、これを整備するとともに、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	募集戸数	戸	18	11	7	6
	応募者数	人	0	3	1	6
	入居戸数(年度末時)	戸	112	114	109	110

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.168	0.168	100	0.168	100	0.168	100	
	臨時職員	0.240	0.260	108	0.280	108	0.220	79	
支出内訳	人件費	2,299,896	2,338,592	102	2,330,229	100	1,930,597	83	
	事業費	3,141,815	4,138,505	132	4,597,319	111	64,294,000	1,399	
	合計	5,441,711	6,477,097	119	6,927,548	107	66,224,597	956	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	5,441,711	6,477,097	119	6,927,548	107	13,954,000	201	
	一般財源	0	0	-	0	-	52,270,597	-	
	合計	5,441,711	6,477,097	119	6,927,548	107	66,224,597	956	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0.27	-	0.14	51.9			
指標名2		市営住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)/管理戸数(151戸)×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	74	75	101.4	72	96.0			

【効率性】

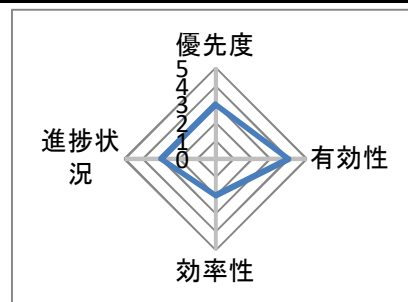
指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数(151戸)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	46357	39735	85.7	39735	100.0	33112	83.3	
	実績	16406	23658	144.2	24201	102.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給を図っているが、老朽化に伴い入居率が減少傾向。	
効率性	コストの節減	老朽化により修繕費が増加傾向。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	令和元年度、2年度の2ヶ年で耐震診断業務を行い、その結果により長寿命化計画の見直しを行う。(建替え、耐震補強等)	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	耐震診断業務により長寿命化計画を見直す。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	耐震診断業務を行うことで、長寿命化計画を見直し、住宅管理の方向性を検討する。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	老朽住宅の維持管理費の抑制				
見直し事項	長寿命化計画の見直し				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号	050101040400	事業の種類		2
年度	1	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業	予算事業名	コミュニティ住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標			自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)			秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	大西	担当者名	今井
取組み事項			定住促進と居住水準の向上を図る	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名			コミュニティ住宅管理事業	コミュニティ住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規			コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)		事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者				
	誰(何)を対象として		事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者				
	意図(どのような状態にしたいのか)		事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	コミュニティ維持管理費	千円	3122	3388	4979	3000
	コミュニティ家賃収入	千円	27164	25587	24328	23672

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100
	臨時職員	0.120	0.140	117	0.160	114	0.124	78
支出内訳	人件費	1,613,352	1,649,480	102	1,669,509	101	1,430,389	86
	事業費	3,121,593	5,050,709	162	6,657,152	132	4,728,000	71
	合計	4,734,945	6,700,189	142	8,326,661	124	6,158,389	74
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	4,734,945	6,700,189	142	8,326,661	124	6,158,389	74
	一般財源	0	0	-	0	-	0	-
	合計	4,734,945	6,700,189	142	8,326,661	124	6,158,389	74

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		コミュニティ住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全58戸×100 目標率:H27=97% H28=98%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98	93	94.9	91	97.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入／コミュニティ住宅維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	500	500	100.0	789	157.8	789	100.0	
	実績	870	755	86.8	488	64.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い維持管理経費が増加傾向にある。

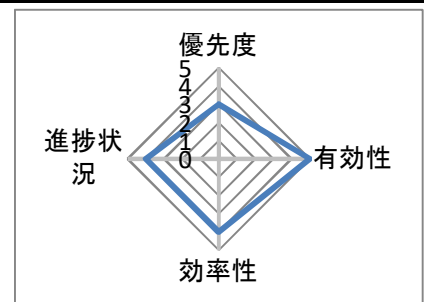
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費については、限られた予算の中で優先順位を見極めながら対応する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	屋上防水、外壁塗装等の大規模な改修工事の実施。				
見直し事項	ガス給湯器の計画的な交換を行う。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101040600		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業	予算事業名		優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長		担当者名	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		転入者住宅取得奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外から転入して市内に住宅を新築又は購入した者					
	誰(何)を対象として	転入者住宅取得奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	転入及び定住の促進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に30万円(満18歳以下の世帯員がいる場合は、1人につき5万円を加算する)の奨励金を交付する。総額は50万円を限度とする。＜事業完了済＞				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	交付決定件数	件				

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	事業費			-		-		-	
	合計	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	合計	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

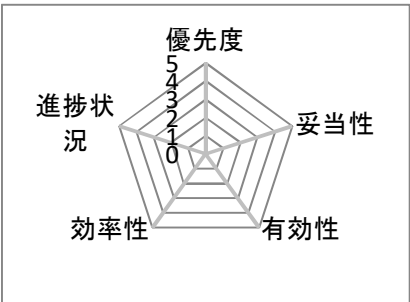
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号		050101040800		事業の種類		2		
年度	1	事務事業名	定住促進住宅管理事業		予算事業名		定住促進住宅管理事業		優先度		3
まちづくり目標			自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名		建設農林部建設管理課			
施策名(中)			秩序あるまちづくりを推進する			担当課長		大西		担当者名 今井	
取組み事項			定住促進と居住水準の向上を図る			実施計画への記載		無		主要事業の指定 無	
実施計画事業名			佐方定住促進住宅管理事業				佐方定住促進住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規			定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則								
事業の目的	誰のために(具体的に)		市内に定住するために住宅が必要な者								
	誰(何)を対象として		市内に定住するために住宅が必要な者								
	意図(どのような状態にしたいのか)		市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	定住維持管理費	千円	1710	1005	1,655	1,400
	定住家賃収入	千円	12768	11835	10,917	10,275

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.140	0.140	100	0.140	100	0.140	100	
	臨時職員	0.120	0.140	117	0.160	114	0.124	78	
支出内訳	人件費	1,767,712	1,798,160	102	1,817,309	101	1,580,329	87	
	事業費	1,709,686	1,414,476	83	2,071,636	146	1,850,000	89	
	合計	3,477,398	3,212,636	92	3,888,945	121	3,430,329	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,477,398		0	3,888,945	-	3,430,329	88	
	一般財源	0	3,212,636	-	0	0	0	-	
	合計	3,477,398	3,212,636	92	3,888,945	121	3,430,329	88	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	67	64	95.5	64	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

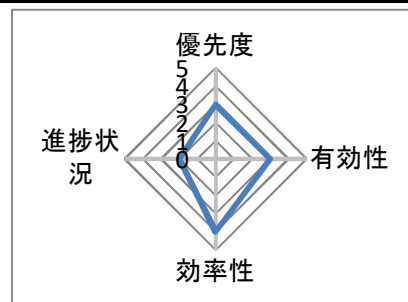
指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	734	734.0	
	実績	747	1178	157.7	659	55.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っているが、入居率が7割未満と他住宅より低い状況にある。	3
	市民サービス	定住促進住宅の入居率が低い要因として、4階建でありながらエレベーターが無い点が挙げられる。このため、今後、有効活用を図る方策(大規模改修と合わせてのエレベーターの設置や高層階の家賃引下等)の検討が必要。	
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	入居率低下の解消策の検討が必要。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入居率低下の解消策の検討。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定住促進住宅の役割を再度見直し、入居率向上に向けた取り組みを検討していく。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	屋上防水、外壁塗装等の大規模な改修が必要。				
見直し事項	入居率低下の要因の解消を図るため、大規模改修に合わせてエレベーターの設置や高層階の家賃見直し等、有効活用策の検討が必要。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101041100		事業の種類	4
年度	1	事務事業名	相生市空き家バンク事業	予算事業名	優先度
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
		施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	松本 秀文
		取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る	実施計画への記載	無
実施計画事業名		主要事業の指定			
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者			
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	登録物件数	件	4	3	15	
	成約件数	件	5	3	7	
	利用者登録件数	件	6	6	6	
	市内空き家件数	件	816	985	975	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円						
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.088	122	0.072	82
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	926,808	904,988	98	1,025,029	113	889,245	87
	事業費			-		-		-
	合計	926,808	904,988	98	1,025,029	113	889,245	87
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	926,808	904,988	98	1,025,029	113	889,245	87
	合計	926,808	904,988	98	1,025,029	113	889,245	87

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合							
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0		0.0	
	実績	125	100	80.0	47	47.0			
指標名2		登録、利用相談件数							
指標説明(式)		相生市空き家バンクへの登録、利用相談件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	50	250.0	
	実績	13	18	138.5	42	233.3			

【効率性】

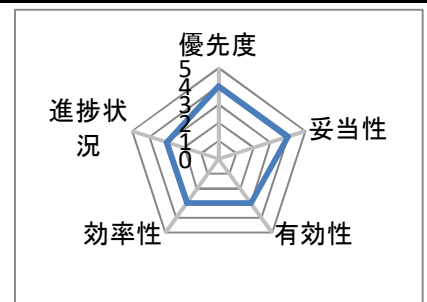
指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
社	目標	10	11	110.0	11	100.0		0.0	
	実績	11	11	100.0	11	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録物件は増加傾向であるが、成約数は伸びていない。	3
	市民サービス	ホームページやチラシを活用し、物件所有者及び利用希望者への情報提供ができています。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	3
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少ない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少ない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	相続前の空き家は宅建協会において対応をお願いするとともに県空き家バンクと連携した相談会の実施に努める。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	相続前の空き家は宅建協会において対応をお願いするとともに県空き家バンクと連携した相談会の実施に努める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102010100	事業の種類		1		
年度	1	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	松井 志帆	
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団						
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	議会	回	2	2	2	2
	担当者会議	回	2	2	2	2

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
	事業費	44,881,000	36,884,000	82	29,278,000	79	21,556,000	74	
	合計	45,375,600	37,372,684	82	29,770,949	80	22,025,413	74	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	45,375,600	37,372,684	82	29,770,949	80	22,025,413	74	
	合計	45,375,600	37,372,684	82	29,770,949	80	22,025,413	74	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		安室ダム水源開発費							
指標説明(式)		安室ダム水源開発費経費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	11,486	8,106	70.6	4,194	51.7	0	0.0	
	実績	11,486	8,106	70.6	4,194	51.7			
指標名2		安室ダム水道用水供給量							
指標説明(式)		水道用水供給量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
m³	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

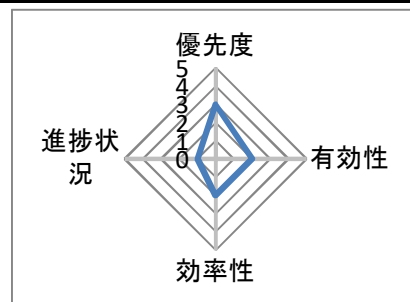
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	将来的にもダムを保有する限り、機器更新及び躯体改修等への対応が必要である。	2
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、相生市・赤穂市・上郡町で構成する安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており効率的である。	2
	コストの節減	償還額が減少したことによる減であり、根本的には変わっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況下であり、供用開始されておらず、予定もない。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	令和元年度で安室ダム水源開発費経費の償還完了となる。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新たな費用負担が発生しないように県と連携を図る。

配点	25
総合評価	11

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	県を含めた償還終了後の方向性の協議
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 縮小

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102010200	事業の種類		3		
年度	1	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業	予算事業名	西播磨水道企業団事業	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	松井 志帆	
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団						
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	有収水量	m3	3,855,558	3,679,639	3,596,652	4,000,000
	給水人口	人	29,972	29,526	29,124	30,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	463,728	458,948	99	463,389	101	439,425	95	
	事業費	1,130,000	1,147,000	102	1,057,000	92	1,072,000	101	
	合計	1,593,728	1,605,948	101	1,520,389	95	1,511,425	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,593,728	1,605,948	101	1,520,389	95	1,511,425	99	
	合計	1,593,728	1,605,948	101	1,520,389	95	1,511,425	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		有収水量							
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
m3	目標	4,000,000	4,000,000	100.0	4,000,000	100.0	4,000,000	100.0	
	実績	3,855,558	3,679,639	95.4	3,596,652	97.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

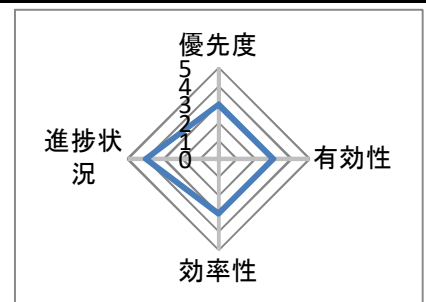
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	西播磨水道企業団(たつの市との広域)との連絡調整であり、効率的に実施できている。	3
	コストの節減	臨時的な負担金等の発生がなかったため、例年並みの歳出規模となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状の連絡調整の事務としては、特に課題はない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	例年どおり効率的に実行する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	インフラ施設の老朽化による更新等について、十分な事前協議が必要である。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102020100		事業の種類		6	
年度	1	事務事業名	下水道整備事業	予算事業名	下水道整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		公共下水道整備事業					
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水道普及率を100%にする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の未整備地の整備を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	整備延長(汚水)	m	0	77	87	100
	公共樹設置	箇所	24	28	15	30
	整備延長(雨水)	m	170	414.14	193.1	525.14

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.396	0.396	100	0.396	100	0.408	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,427,440	3,313,604	97	3,301,149	100	3,408,237	103	
	事業費	146,658,959	146,206,082	100	97,853,902	67		0	
	合計	150,086,399	149,519,686	100	101,155,051	68	3,408,237	3	
財源内訳	国庫支出金	69,058,000	65,839,000	95	37,003,000	56		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債	58,800,000	59,200,000	101		0		-	
	その他	1,283,100	864,500	67	7,374,280	853		0	
	一般財源	20,945,299	23,616,186	113	56,777,771	240	3,408,237	6	
	合計	150,086,399	149,519,686	100	101,155,051	68	3,408,237	3	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		普及率							
指標説明(式)		公共下水道区域の人口普及率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
全体進捗率	目標	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0	
	実績	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

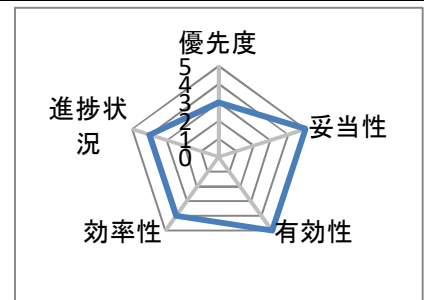
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	污水管の整備はほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	5
効率性	コストの節減	污水整備は計画区域内で、住宅等が無く、整備する必要の無い区域は工事を先送りし、経費の節減を図り、雨水整備は新技術、新工法を採用しコストの節減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	污水整備は事業計画に対して人口比ではほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	未整備区域の計画把握と経費の削減を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	浸水対策工事の促進を図る。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	未整備地内の整備方法の検討を行う。				
見直し事項	投資的効果が発揮されるような整備を行う。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102020200		事業の種類		7
年度	1	事務事業名	下水道施設長寿命化事業	予算事業名	下水道施設長寿命化事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水処理施設の長寿命化計画を策定し、改築更新により、施設の延命化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センターの長寿命化計画策定及び改築更新工事を実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	機能診断	式				
	長寿命化計画策定	式				
	実施設計	式				
	電気・機械設備改築更新	式	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分		公共下水特別会計		事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.232	0.232	100	0.232	100	0.244	105	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,161,688	2,094,428	97	2,089,189	100	2,178,729	104	
	事業費	301,990,560	338,655,340	112	254,090,000	75		0	
	合計	304,152,248	340,749,768	112	256,179,189	75	2,178,729	1	
財源内訳	国庫支出金	158,740,000	182,221,000	115	135,840,000	75		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債	114,200,000	125,100,000	110	94,700,000	76		0	
	その他			-		-		-	
	一般財源	31,212,248	33,428,768	107	25,639,189	77	2,178,729	8	
	合計	304,152,248	340,749,768	112	256,179,189	75	2,178,729	1	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		日本下水道事業団に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		交付金対象事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			

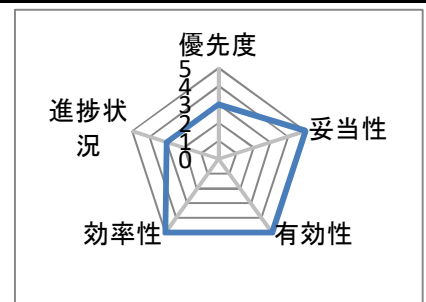
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している日本下水道事業団に委託することにより、相生下水管理センターの改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	長寿命化計画を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り、交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102030100	事業の種類		7		
年度	1	事務事業名	農業集落排水施設改築更新事業	予算事業名	農業集落排水施設改築更新事業	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘	
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載		有	主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設の機能診断を行い最適整備構想を作成し、機能強化等により施設の延命化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水施設の最適整備構想の作成及び機能強化工事の実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	機能診断	式				
	最適整備構想	式				
	機能強化工事計画策定	式				
	機能強化工事	式	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.232	0.232	100	0.232	100	0.244	105	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,161,688	2,094,428	97	2,089,189	100	2,178,729	104	
	事業費	38,535,120	58,080,960	151	58,278,300	100		0	
	合計	40,696,808	60,175,388	148	60,367,489	100	2,178,729	4	
財源内訳	国庫支出金	19,258,560	29,000,000	151		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	17,300,000	26,100,000	151		0		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,138,248	5,075,388	123	60,367,489	1,189	2,178,729	4	
	合計	40,696,808	60,175,388	148	60,367,489	100	2,178,729	4	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		兵庫県土地改良事業団体連合会に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

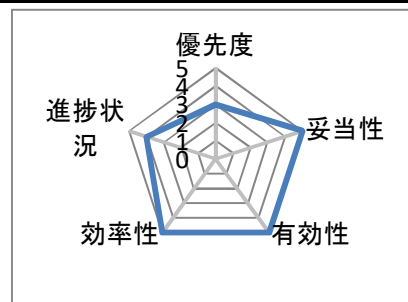
指標名1		事業費							
指標説明(式)		農山漁村地域整備交付金事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している兵庫県土地改良事業団体連合会に委託することにより、農業集落排水施設の改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	最適整備構想を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが、当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせて事業実施しているが、当初計画より交付金額が減少し、計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから順次整備を行う。

配点	32.5
総合評価	27.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102030200	事業の種類		6	
年度	1	事務事業名	農業集落排水整備事業	予算事業名	農業集落排水整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		農業集落排水整備事業					
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例 相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道区域以外の市民					
	誰(何)を対象として	公共下水道区域以外の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	早期に100%生活排水の水洗化整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等に新規加入する住宅等に公共枵を設置する。 未整備地で、下水管渠築造工事に多大な費用を要する住宅等に、戸別合併処理浄化槽を設置する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	戸別合併浄化槽設置	件	2	0	1	1
	新規加入公共枵設置	件	1	1	3	2

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.204	0.204	100	0.204	100	0.244	120	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,945,584	1,886,276	97	1,882,269	100	2,178,729	116	
	事業費	9,137,880	2,607,893	29	7,765,420	298		0	
	合計	11,083,464	4,494,169	41	9,647,689	215	2,178,729	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	4,100,000		0		-		-	
	その他	3,510,000	150,000	4	930,000	620		0	
	一般財源	3,473,464	4,344,169	125	8,717,689	201	2,178,729	25	
	合計	11,083,464	4,494,169	41	9,647,689	215	2,178,729	23	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

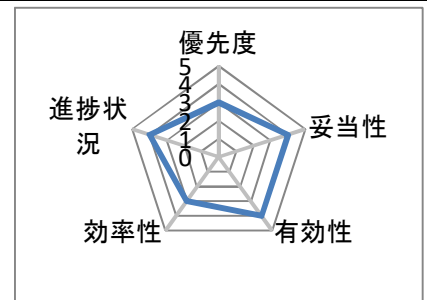
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新規加入申請に対応しており、市民サービスに込えている。	4
効率性	手段の最適性	公共柵の設置に関して、合理的な工法を選択している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業としては、完了している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新規加入申請者に対し速やかに対応できる体制を整える。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今年度は計4件の新規加入があったが、今後も速やかに対応できる体制を維持する。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040100		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	下水道管理事業	予算事業名	下水道管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活排水による汚濁負荷を低減し、公共水域の水質保全を図るため、総括管理を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設台帳の整備等総括管理事務を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道台帳整備	式	1	1	1	1
	下水道調査報告	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.312	0.312	100	0.312	100	0.312	100	
	臨時職員			-		-	0.060	-	
支出内訳	人件費	2,779,128	2,689,148	97	2,680,389	100	2,776,245	104	
	事業費	37,536,116	34,509,417	92	36,792,455	107		0	
	合計	40,315,244	37,198,565	92	39,472,844	106	2,776,245	7	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	37,296,116	34,269,417	92	36,480,455	106		0	
	一般財源	3,019,128	2,929,148	97	2,992,389	102	2,776,245	93	
	合計	40,315,244	37,198,565	92	39,472,844	106	2,776,245	7	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

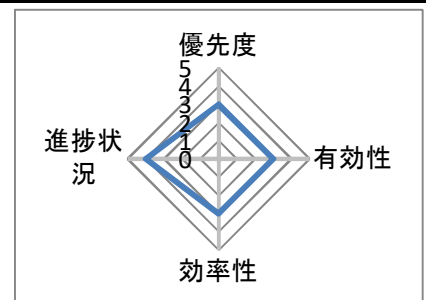
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	常に最新の状態で下水道台帳を整備することができている。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令にそった成果が概ね得られた。	
効率性	手段の最適性	専門業者に委託することにより効率が図られている。	3
	執行体制の効率性	速やかな対応が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	下水整備に合わせて、進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳と現地に差異があるところがある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳の精査が必要である。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	下水道台帳のシステム化が必要である。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050102040200		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	賦課徴収事業(下水)	予算事業名	賦課徴収事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之		担当者名	松本 好弘	
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		下水道法・都市計画法・相生市下水道条例・相生市下水道事業受益者負担金条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道事業受益者							
	誰(何)を対象として	公共下水道事業受益者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	条例に則り、公共下水道受益者から使用料及び負担金の応分の費用を徴収する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		使用料徴収事務委託により、経費の節減を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道使用料徴収	式	1	1	1	1
	受益者負担金徴収	式	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.288	0.288	100	0.288	100	0.292	101	
	臨時職員			-		-	0.060	-	
支出内訳	人件費	2,593,896	2,510,732	97	2,503,029	100	2,626,305	105	
	事業費	25,350,750	25,273,269	100	26,065,860	103		0	
	合計	27,944,646	27,784,001	99	28,568,889	103	2,626,305	9	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	25,350,750	25,273,269	100	26,065,860	103		0	
	一般財源	2,593,896	2,510,732	97	2,503,029	100	2,626,305	105	
	合計	27,944,646	27,784,001	99	28,568,889	103	2,626,305	9	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水道使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数／徴収対象件数×100 (委託件数÷調定件数×100) ※ R1年度 69,067÷70,402×100=98.104%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.42	98.18	99.8	98.10	99.9			
指標名2		受益者負担金賦課件数(猶予取消しを含む)							
指標説明(式)		負担金徴収件数／負担金徴収対象件数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

【効率性】

指標名1		下水道使用料徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／徴収対象金額×100 (収納額÷調定額×100) ※ R1年度 367,969,363÷449,949,532×100=81.780%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.03	98.22	100.2	81.78	83.3			

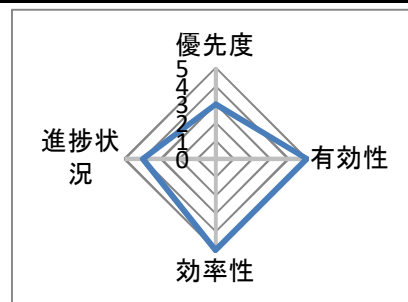
指標名2		受益者負担金徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／賦課金額×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、徴収率の高率維持につながっている。	5
	成果の向上	下水道受益者負担金は、農業委員会と連携をとり、負担金徴収猶予となっている農地の宅地化の情報を基に、賦課徴収している。	
効率性	コストの節減	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料金徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に照会を行い、居所、連絡先等の把握に努める。

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040300		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	排水設備管理事業(下水)	予算事業名	排水設備管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例・相生市下水道排水設備指定工事店規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保する。排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	確認検査	件	105	124	91	100

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.196	0.196	100	0.196	100	0.196	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,883,840	1,826,804	97	1,823,149	100	1,818,873	100	
	事業費	202,687	133,450	66	206,136	154		0	
	合計	2,086,527	1,960,254	94	2,029,285	104	1,818,873	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	202,687	133,450	66	206,136	154		0	
	一般財源	1,883,840	1,826,804	97	1,823,149	100	1,818,873	100	
	合計	2,086,527	1,960,254	94	2,029,285	104	1,818,873	90	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	105	124	118.1	91	73.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

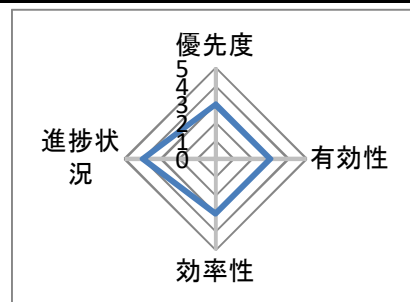
指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,435	20,414	99.9	21,399	104.8	18,189	85.0	
	実績	19,871	15,682	78.9	22,300	142.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持している。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	指定工事店及び責任技術者の技術の向上を図る。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050102040400		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	汚水処理施設維持管理事業	予算事業名	汚水処理施設維持管理事業	優先度	3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘		
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者							
	誰(何)を対象として	利用者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	汚水処理の維持管理を適正に行い、利用者が常に安心して下水道を使用できるようにする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		脱水汚泥等の処分及び下水管渠の清掃を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	汚泥処分	トン	1,951	1,838	2,059	2,170
	管渠清掃	m	8,145	15,876	11,330	10,000
	管渠調査	m	0	0		

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.224	0.224	100	0.224	100	0.224	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,099,944	2,034,956	97	2,030,069	100	2,028,789	100	
	事業費	50,844,805	48,392,623	95	53,670,317	111		0	
	合計	52,944,749	50,427,579	95	55,700,386	110	2,028,789	4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	50,844,805	48,392,623	95	53,670,317	111		0	
	一般財源	2,099,944	2,034,956	97	2,030,069	100	2,028,789	100	
	合計	52,944,749	50,427,579	95	55,700,386	110	2,028,789	4	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		汚泥処分のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル施設搬入汚泥量／発生汚泥量×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

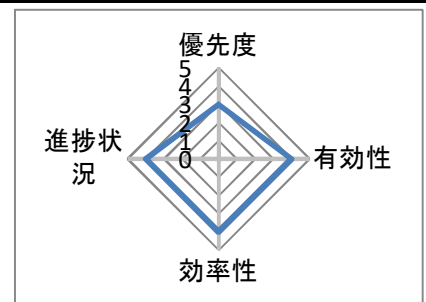
指標名1		脱水汚泥のセメント原料化施設への搬入率の向上							
指標説明(式)		汚泥のセメント原料化施設搬入量／発生汚泥量×100 住友÷(住友+資源開発)×100 ※ R1年度 1,908.84÷(1,908.84+149.72)×100=92.73%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	93.3	94.6	101.4	93.5	98.8	92.6	99.0	
	実績	94.3	93.7	99.4	92.7	98.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	脱水汚泥のリサイクル率100%を維持できている。	4
効率性	コストの節減	汚泥処分費の安価な施設であるセメント工場での処分ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	汚泥の有効活用を検討する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在、セメント原料化と堆肥化処分を行っているが、他の処分方法や汚泥受入れ可能業者について再考する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	汚泥の再利用施設の建設を検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号		050102040500		事業の種類		2
年度	1	事務事業名	雨水処理施設維持管理事業		予算事業名	雨水処理施設維持管理事業		優先度	4
まちづくり目標			自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)			上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之		担当者名	松本 好弘
取組み事項			公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規			下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)		住民						
	誰(何)を対象として		住民						
	意図(どのような状態にしたいのか)		排水区域内の住居等を浸水から守る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		雨水ポンプ場の適正な維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	ポンプ場修繕工事	式	1	1	1	1
	し渣搬出業務委託	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.224	0.224	100	0.224	100	0.224	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,099,944	2,034,956	97	2,030,069	100	2,028,789	100	
	事業費	21,288,758	16,325,597	77	12,742,255	78		0	
	合計	23,388,702	18,360,553	79	14,772,324	80	2,028,789	14	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,388,702	18,360,553	79	14,772,324	80	2,028,789	14	
	合計	23,388,702	18,360,553	79	14,772,324	80	2,028,789	14	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		浸水戸数							
指標説明(式)		排水区域内の浸水戸数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

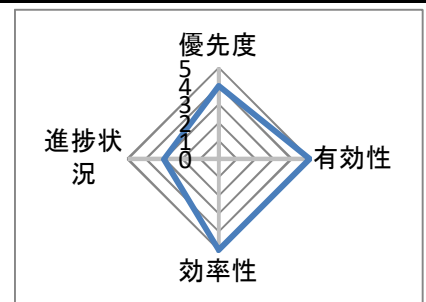
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ポンプ場の機能により浸水被害を防ぐことができた。	5
効率性	手段の最適性	点検業務を適正に行うことにより、緊急時対応もできた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	施設の長寿命化の検討が必要である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	設備の老朽化に対する検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	「下水道施設長寿命化事業」と連動し、最も老朽化の進んでいる那波ポンプ場の実施設計が完了し、令和3年度から長寿命化工事を予定している。

配点	25
総合評価	21

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	「下水道施設長寿命化事業」と連動し、最も老朽化の進んでいる那波ポンプ場の更新を行う。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 拡大

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050102040600	事業の種類		1		
年度	1	事務事業名	下水道施設包括維持管理事業	予算事業名	下水道処理施設包括維持管理事業	優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘	
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		公共下水道維持管理事業						
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者及び市内企業						
	誰(何)を対象として	利用者及び市内企業						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生下水管理センターの運転及び維持管理事業を民間会社に委託し、コストの節減と、民間のノウハウを生かした水処理を適正に行った放流水により相生湾の水質を保全する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センター及び汚水ポンプ場の運転・維持管理、修繕業務を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	包括委託	式	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.152	100	0.152	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,544,248	1,499,708	97	1,497,989	100	1,489,005	99	
	事業費	249,177,600	248,637,600	100	250,942,800	101		0	
	合計	250,721,848	250,137,308	100	252,440,789	101	1,489,005	1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	243,241,920	236,144,160	97	218,352,000	92		0	
	一般財源	7,479,928	13,993,148	187	34,088,789	244	1,489,005	4	
	合計	250,721,848	250,137,308	100	252,440,789	101	1,489,005	1	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		放流水質基準達成率							
指標説明(式)		要求水準達成日数/365日×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

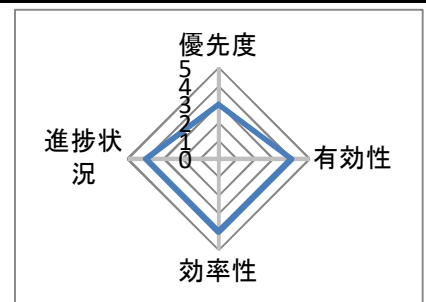
指標名1		電力量の節減							
指標説明(式)		各年度電力量／H21年度電力量(2,709,752kWh)×100 ※ R1年度 2,380,670÷2,709,752×100=87.86%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	90.8	90.3	99.4	87.9	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	民間企業のノウハウと不断の努力により、要求水準どおりの放流水となっている。	4
効率性	執行体制の効率性	民間企業に包括委託することによりコストの削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場からの排水処理。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場・委託業者・市の三者協議が必要である。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040700		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	水洗化促進事業(下水)	予算事業名	水洗化促進事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例、相生市水洗便所等改造資金助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		水洗便所等改造資金貸付金により、水洗化を促進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	改造資金貸付	件	1	0	0	1
	改造資金助成	件	0	0	0	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.244	100	
	臨時職員			-		-	0.032	-	
支出内訳	人件費	2,254,304	2,183,636	97	2,177,869	100	2,225,513	102	
	事業費	350,064	128	0	64	50		0	
	合計	2,604,368	2,183,764	84	2,177,933	100	2,225,513	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	80,827	128	0	64	50		0	
	一般財源	2,523,541	2,183,636	87	2,177,869	100	2,225,513	102	
	合計	2,604,368	2,183,764	84	2,177,933	100	2,225,513	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

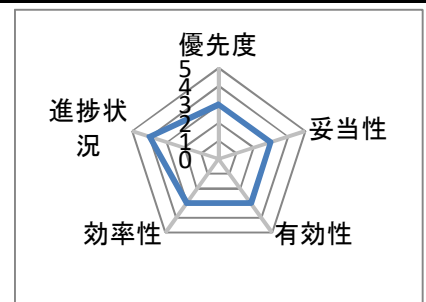
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請件数は予測以下であるが、制度の活用により水洗化が困難だった世帯へ早期の水洗化が可能となった。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共用水域の水質向上につながっている。	
効率性	執行体制の効率性	下水道接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による下水道経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の収受を行うことで効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及が進んだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	償還にあたっては、分割納付等、柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	未収金の解消を図る。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号		050102040800		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	公営企業会計移行事業		予算事業名	公営企業会計移行事業		優先度	－	
まちづくり目標			自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)			上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之		担当者名	松本 好弘	
取組み事項			公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
実施計画事業名			公営企業会計移行事業			公営企業会計業務事業				
根拠法規及び関連法規			地方公営企業法							
事業の目的	誰のために(具体的に)		相生市下水道事業							
	誰(何)を対象として		相生市下水道会計							
	意図(どのような状態にしたいのか)		相生市の下水道事業における経営の健全化及び財務状況の明確化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地方公営企業法を一部適用するにあたり必要な事務手続きの支援及び固定資産台帳の整備を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	基本計画書の作成	式				
	資産調査業務	式	1	1	1	
	資産評価業務	式		1	1	
	法適用以降支援業務	式		1	1	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	公共下水特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.000	0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,254,304	2,183,636	97	2,177,869	100	349,461	16	
	事業費	14,906,640	27,972,000	188	39,638,000	142		0	
	合計	17,160,944	30,155,636	176	41,815,869	139	349,461	1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	14,900,000	27,900,000	187		0		-	
	その他	6,640	72,000	1,084		0		-	
	一般財源	2,254,304	2,183,636	97	41,815,869	1,915	349,461	1	
	合計	17,160,944	30,155,636	176	41,815,869	139	349,461	1	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

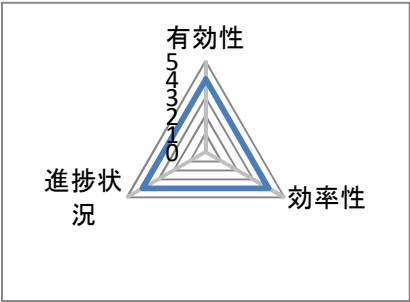
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	決算及び資産調査を行い、決算との調整を行い資産評価する必要がある。	4
効率性	手段の最適性	資料のない資産を評価する場合の資産評価方法を検討する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	令和2年4月1日、特別会計から公営企業会計に移行を完了した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	25
総合評価	12

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	完了	成果		総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050100		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	農業集落排水管理事業	予算事業名	農業集落排水管理事業	優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名 松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民				
	誰(何)を対象として	参加市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水処理施設等を適正に運営し、消費税申告を適正に行う。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水処理施設の総括管理事務及び公課費(消費税)に関する事務を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	施設総括事務	式	1	1	1	1
	消費税	式	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.244	102	
	臨時職員			-		-	0.060	-	
支出内訳	人件費	2,223,432	2,153,900	97	2,148,309	100	2,266,449	105	
	事業費	17,156,716	15,823,728	92	16,412,499	104		0	
	合計	19,380,148	17,977,628	93	18,560,808	103	2,266,449	12	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	447,575	850,642	190	798,578	94		0	
	一般財源	18,932,573	17,126,986	90	17,762,230	104	2,266,449	13	
	合計	19,380,148	17,977,628	93	18,560,808	103	2,266,449	12	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

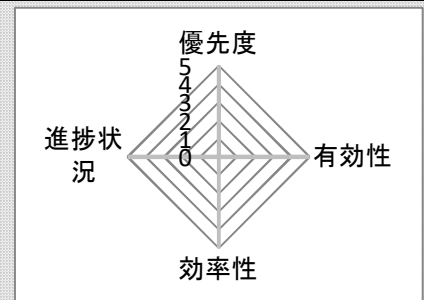
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
	関係(根拠)法令等から見た効果		
効率性	コストの節減		
	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050200		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	賦課徴収事業(農集)	予算事業名	賦課徴収事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の受益者					
	誰(何)を対象として	事業区域内の受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水処理施設使用料の徴収及び新規加入金を100%徴収する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		排除汚水量を認定し、排水処理施設使用料を徴収する。 新規加入者に対して、加入金を徴収する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	徴収事務	式	1	1	1	1
	新規加入	件	3	1	4	3

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.168	0.168	100	0.168	100	0.172	102	
	臨時職員			-		-	0.060	-	
支出内訳	人件費	1,667,736	1,618,652	97	1,616,229	100	1,726,665	107	
	事業費	3,436,253	3,416,425	99	3,520,700	103		0	
	合計	5,103,989	5,035,077	99	5,136,929	102	1,726,665	34	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,436,253	3,322,423	97	0	0		-	
	一般財源	1,667,736	1,712,654	103	5,136,929	300	1,726,665	34	
	合計	5,103,989	5,035,077	99	5,136,929	102	1,726,665	34	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水処理施設使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数÷徴収対象件数×100 (委託件数÷調定件数×100) ※ R1年度 9,246÷9,386×100=98.508%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.59	98.53	99.9	98.51	100.0			
指標名2		排水処理施設使用料徴収金額							
指標説明(式)		徴収金額÷徴収対象金額×100 (収納額÷調定額×100) ※ R1年度 59,305,647÷71,869,645×100=82.518%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.05	99.00	99.9	82.52	83.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

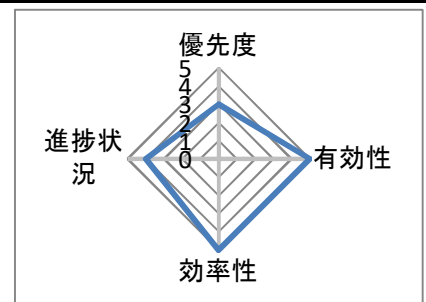
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、徴収率の高率維持につながっている。	5
効率性	コストの節減	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	無断転居による滞納者への対応(所在確認)について、苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料徴収の委託先である水道企業団と連携し、居住していた物件の管理者等に積極的に照会を行い、居所、連絡先等の把握に努める。

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050300		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	排水設備管理事業(農集)	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保するため、排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	確認検査	件	6	9	7	20

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,328,144	1,291,556	97	1,291,069	100	1,279,089	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,328,144	1,291,556	97	1,291,069	100	1,279,089	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,328,144	1,291,556	97	1,291,069	100	1,279,089	99	
	合計	1,328,144	1,291,556	97	1,291,069	100	1,279,089	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	6	9	150.0	7	77.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

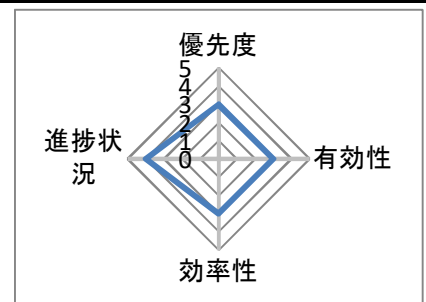
指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	65,530	66,365	101.3	65,515	98.7	63,954	97.6	
	実績	221,357	143,506	64.8	184,438	128.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	排水設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持している。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	指定工事店及び責任技術者の技術の向上を図る。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050102050400		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業	予算事業名	農業集落排水施設維持管理事業	優先度	3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之		担当者名	松本 好弘	
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載		有	主要事業の指定		有
実施計画事業名		農業集落排水維持管理事業							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)		参加市民						
	誰(何)を対象として		参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)		農業集落排水施設等を適正に維持管理運営し、公共用水域を保全する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等処理施設の維持管理業務や濃縮汚泥の運搬を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	維持修繕工事	件	9	11	4	10
	施設の維持管理委託	件	1	1	1	1
	汚泥運搬業務	m ³	3,458	3,458	3,477	3,477
	管渠等の清掃	m	1,623.42	1,599.28	1,581.36	2,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.228	0.228	100	0.228	100	0.228	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,130,816	2,064,692	97	2,059,629	100	2,058,777	100	
	事業費	71,452,006	68,332,552	96	65,515,873	96		0	
	合計	73,582,822	70,397,244	96	67,575,502	96	2,058,777	3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	71,368,825	68,162,742	96	58,108,169	85		0	
	一般財源	2,213,997	2,234,502	101	9,467,333	424	2,058,777	22	
	合計	73,582,822	70,397,244	96	67,575,502	96	2,058,777	3	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排出汚泥のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル処理施設への搬出量／濃縮汚泥搬出量×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

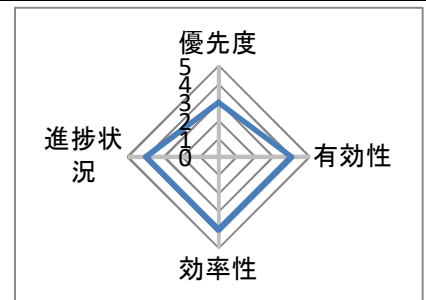
指標名1		汚泥排出量							
指標説明(式)		濃縮汚泥搬出量／処理水量×100 ※決算統計第10表より 年間総汚泥処分量／年間総処理水量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.68	0.68	100.0	0.68	100.0	0.68	100.0	
	実績	0.84	0.85	101.2	0.88	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	濃縮汚泥は、下水管理センターで公共下水道の汚泥と混合し、脱水汚泥としてリサイクル施設へ搬出している。	4
効率性	手段の最適性	汚泥排出量を適正に行うことにより水質を維持している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公共下水道との統合を推進する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	現在進行中である機能強化工事の進捗状況に合わせ、順次に統合施設を検討していく。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	公共下水道との統合時期を検討する必要がある。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050500		事業の種類	2	
年度	1	事務事業名	個別排水処理施設維持管理事業	予算事業名	個別排水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益者					
	誰(何)を対象として	受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	戸別合併処理浄化槽を適正に管理し、公共用水域の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		浄化槽維持管理業者に清掃点検業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	浄化槽維持管理委託	基	19	19	20	21

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,113,140	97	1,113,709	100	1,099,161	99	
	事業費	976,692	1,084,104	111	1,153,413	106		0	
	合計	2,119,604	2,197,244	104	2,267,122	103	1,099,161	48	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	478,510	519,996	109	406,500	78		0	
	一般財源	1,641,094	1,677,248	102	1,860,622	111	1,099,161	59	
	合計	2,119,604	2,197,244	104	2,267,122	103	1,099,161	48	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質基準							
指標説明(式)		浄化槽水質基準適合数/浄化槽数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

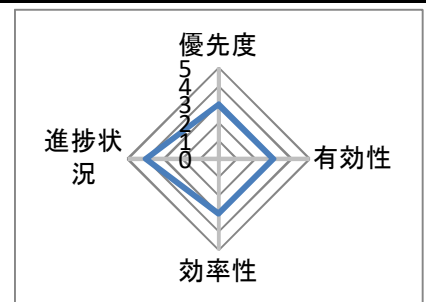
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	全ての浄化槽において、水質基準が満たされていた。	3
効率性	手段の最適性	専門的資格のある浄化槽維持管理業者により適正に清掃点検がされている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050600		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	水洗化促進事業(農集)	予算事業名	水洗化促進事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、くみ取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		水洗便所等改造資金貸付金により、水洗化を促進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	改造資金貸付	件	0	0	0	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100	0.116	112	
	臨時職員			-		-	0.032	-	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,265,897	111	
	事業費	0	0	-	0	-		-	
	合計	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,265,897	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-	0	-		-	
	一般財源	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,265,897	111	
	合計	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,265,897	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

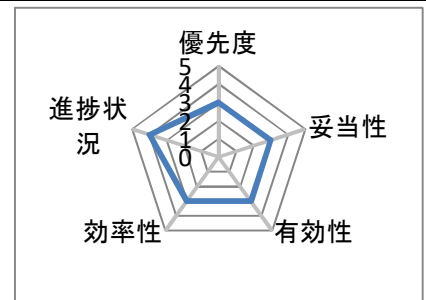
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	水洗化普及がすすんだことで件数は減少傾向にあり、本年度は申請がないが、資金的な負担を軽減して水洗化を促進する成果はあげている。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共水域の水質向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	農業集落排水等への接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による特別会計経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている。	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の収受を行うことで、効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及がすすんだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未水洗化世帯に対し、水洗化の促進を行う必要性がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	償還にあたっては、分割納付等、柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	水洗化率100%を目指すべく、未水洗化世帯に対し、水洗化の広報やPRを積極的に行う。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103010100		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	港湾管理事業	予算事業名	港湾管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	点検件数	件	20	20	20	20

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.110	0.060	55	0.080	133	0.060	75	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,220,092	815,780	67	965,909	118	799,281	83	
	事業費	805,280	886,520	110	781,000	88	913,000	117	
	合計	2,025,372	1,702,300	84	1,746,909	103	1,712,281	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,025,372	1,702,300	84	1,746,909	103	1,712,281	98	
	合計	2,025,372	1,702,300	84	1,746,909	103	1,712,281	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	20	83.3	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.18	0.17	94.4	0.13	76.5	0.17	130.8	
	実績	0.09	0.13	144.4	0.17	130.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の開閉作業は、危機管理課主導となるが、都市整備課の操作従事職員の減により開閉作業が困難となる。

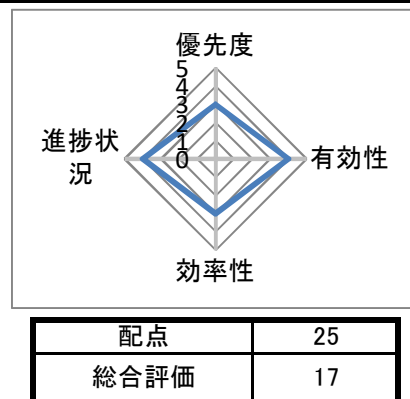
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな操作従事者の育成が必要である。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	危機管理課と協議し、新たな操作従事者の育成を行う必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103010200		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)	予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	操作件数	件	9	12	9	10

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.164	0.148	90	0.170	115	0.160	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,636,864	1,469,972	90	1,631,009	111	1,548,981	95	
	事業費	1,523,305	1,426,097	94	1,843,484	129	6,505,000	353	
	合計	3,160,169	2,896,069	92	3,474,493	120	8,053,981	232	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,500,000	1,500,000	100	1,840,000	123	1,840,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,660,169	1,396,069	84	1,634,493	117	6,213,981	380	
	合計	3,160,169	2,896,069	92	3,474,493	120	8,053,981	232	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	25	50.0	25	100.0	10	40.0	
	実績	9	12	133.3	9	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.20	0.09	45.0	0.08	88.9	0.08	100.0	
	実績	0.03	0.04	133.3	0.03	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

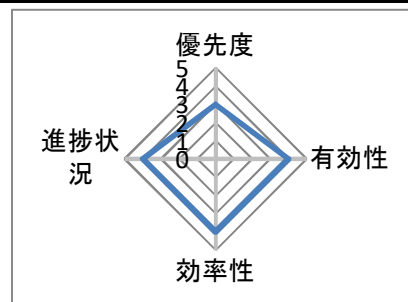
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは、実施できず、他課からの応援に頼っている。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。



配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	災害時には、道路パトロールや災害対応により人員が確保できない為、全庁的な対応が必要。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050103010300		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	海岸美化対策事業	予算事業名	海岸美化対策事業(都市整備)		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	宮崎 晃	
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		海岸美化対策事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	相生湾内の海岸美化 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾内の海岸美化を促進し、生活環境の保全を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		業務委託により海岸美化を促進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	回収ゴミ(可燃)	kg	760	830	340	800
	回収ゴミ(不燃)	kg	60	220	0	200
	回収ゴミ(木くず)	kg	1520	4600	90	3000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,113,140	97	1,113,709	100	1,099,161	99	
	事業費	1,339,040	1,466,480	110	1,627,300	111	2,070,000	127	
	合計	2,481,952	2,579,620	104	2,741,009	106	3,169,161	116	
財源内訳	国庫支出金	700,000	700,000	100	700,000	100	700,000	100	
	県支出金	319,000	383,000	120	463,000	121	463,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,462,952	1,496,620	102	1,578,009	105	2,006,161	127	
	合計	2,481,952	2,579,620	104	2,741,009	106	3,169,161	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

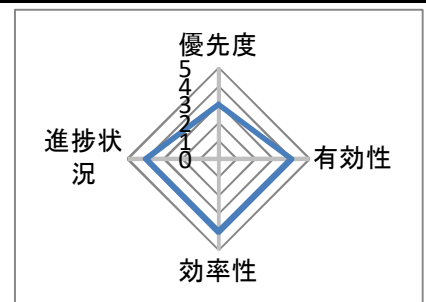
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	64.7	70.8	109.4	78.6	111.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年ゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
効率性	コストの節減	入札により、コスト縮減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台風等の後には、漂着物の回収を実施する必要があるが、流木等の量が膨大な場合は、予算不足になる恐れがある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	委託者がある兵庫県と協議し、適切に処理を行う必要がある。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	台風等の災害時には、流木等が流れ出し、処分量が増加するため、予算不足になることが想定される。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103010500		事業の種類	6
年度	1	事務事業名	港湾整備事業(県事業)		優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		担当者名	宮崎 晃
		実施計画への記載		有	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		港湾法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	鰯浜地区住民			
	誰(何)を対象として	相生港鰯浜地区			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用			

2 事業の概要 Do

実施の概要		埋立工 V=130,000m3 地盤改良 A=3,500m3				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	工事内容					

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	-	0.029	-	0.027	-	
	参事以下職員	0.058		-	0.042	-	0.042	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	818,756	369,740	-	0	-	0	-	
	事業費			-		-		-	
	合計	818,756	369,740	-	0	-	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	818,756	369,740	-	0	-	0	-	
	合計	818,756	369,740	-	0	-	0	-	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

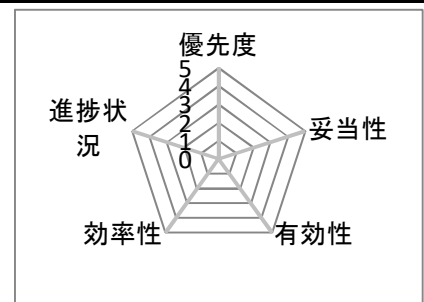
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果		総コスト

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050103010600		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	海岸美化対策事業(瀬戸内)	予算事業名	海岸美化対策事業(建設管理)	優先度	3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	大西	担当者名	今井		
取組み事項		港湾の維持管理及び有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	活動回数	回	1	0	1	1
	回収ゴミ(可燃)	kg	2980	165357	5830	2000
	回収ゴミ(不燃)	kg	2700	570	1150	2000
	回収ゴミ(汚泥)	kg	100	0	0	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.088	100	0.092	105	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,050,296	1,023,932	97	1,025,029	100	1,039,185	101	
	事業費	105,240	148,710	141	138,412	93	173,000	125	
	合計	1,155,536	1,172,642	101	1,163,441	99	1,212,185	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,155,536	1,172,642	101	1,163,441	99	1,212,185	104	
	合計	1,155,536	1,172,642	101	1,163,441	99	1,212,185	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	576	474	82.3	519	109.5			
指標名2		一人あたりのゴミ回収量							
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)÷参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	10	6.7	67.0	8.9	132.8	8.9	100.0	
	実績	10.0	350	3500.0	13.4	3.8			

【効率性】

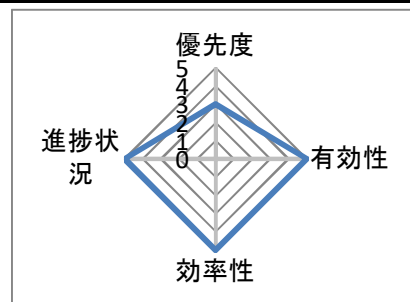
指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	116000	116000	100.0	148000	127.6	173000	116.9	
	実績	105240	148710	141.3	138412	93.1			
指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40	40	100.0	37	92.5	43	116.2	
	実績	18.2	1.1	6.0	19.8	1800.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年大量のゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	5
	組織運営・適正管理	瀬戸内海の路ネットワークの事業の一環として、瀬戸内海沿岸の多数の市町村が海岸美化清掃(リフレッシュ瀬戸内)に取り組んでおり、広域的に取り組むことで事業効果を高めている。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減少している。	5
	執行体制の効率性	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ることで、海岸美化の啓発に有効に寄与している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	市民ボランティアの参加人数の向上



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	PRを高め参加者の拡大を図り、相生湾の環境美化を促進する。

配点	25
総合評価	21

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020100	事業の種類	6
年度	1	事務事業名	市内一円河川等改修事業	予算事業名	河川等改修事業
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	優先度	3
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当部局名	建設農林部都市整備課
		取組み事項	河川を整備する	担当課長	名倉 禎庸
				担当者名	宮崎 晃
				実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		河川整備事業			
根拠法規及び関連法規		河川法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市が管理する河川			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる			

2 事業の概要 Do

実施の概要		未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	準用河川改修工事	m	0	0	60	60
	普通河川改修工事	m	63.6	53.0	40	100

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.518	0.420	81	0.358	85	0.358	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	4,369,036	3,492,020	80	3,020,329	86	3,033,387	100
	事業費	11,247,200	13,344,560	119	8,272,420	62	15,350,000	186
	合計	15,616,236	16,836,580	108	11,292,749	67	18,383,387	163
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	15,616,236	16,836,580	108	11,292,749	67	18,383,387	163
	合計	15,616,236	16,836,580	108	11,292,749	67	18,383,387	163

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

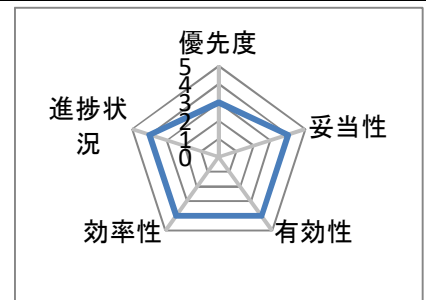
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97.8	99.9	102.1	99.0	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減を図るため、施工方法を検討する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	コストを抑えつつ、安全で快適な河川環境を整備する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200	事業の種類	2
年度	1	事務事業名	河川管理事業	予算事業名	河川管理事業
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	優先度	3
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当部局名	建設農林部都市整備課
		取組み事項	河川を整備する	担当課長	名倉 禎庸
				担当者名	宮崎 晃
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		河川環境美化整備			
根拠法規及び関連法規		河川法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	点検件数	件	37	37	37	37
	報償金の額	円	111000	111000	111000	111000

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.222	0.140	63	0.238	170	0.238	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	2,084,508	1,410,500	68	2,133,529	151	2,133,747	100
	事業費	22,839,521	21,042,480	92	23,402,340	111	23,217,000	99
	合計	24,924,029	22,452,980	90	25,535,869	114	25,350,747	99
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	24,924,029	22,452,980	90	25,535,869	114	25,350,747	99
	合計	24,924,029	22,452,980	90	25,535,869	114	25,350,747	99

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.09	0.11	122.2	0.09	81.8	0.08	88.9	
	実績	0.09	0.13	144.4	0.08	61.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者が主導となり行うべきである。

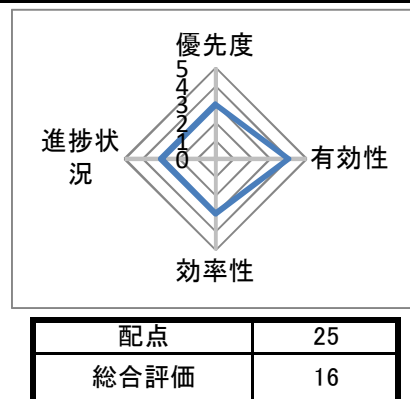
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	樋門管理者と協議を行い、適切に管理を行う必要がある。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	従来から都政整備課で行っているが、樋門管理者が危機管理課となることから、危機管理課主導のもと実施すべきである。
見直事項	都市整備課から危機管理課へ事務引継ぎを行うべきである。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持



事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300	事業の種類	5
年度	1	事務事業名	河川愛護事業	予算事業名	河川愛護事業
		まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	優先度	3
		施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当部局名	建設農林部建設管理課
		取組み事項	河川を整備する	担当課長	大西
				担当者名	今井
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		なし			
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会			
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	実施した自治会数	件	18	19	19	19
	報償金の額	円	359960	358400	359700	360000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.108	100	0.112	104	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.016	80	
支出内訳	人件費	1,257,336	1,227,992	98	1,223,829	100	1,212,517	99	
	事業費	359,960	358,400	100	359,700	100	360,000	100	
	合計	1,617,296	1,586,392	98	1,583,529	100	1,572,517	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,617,296	1,586,392	98	1,583,529	100	1,572,517	99	
	合計	1,617,296	1,586,392	98	1,583,529	100	1,572,517	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減							
指標説明(式)		実施した自治会数の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	13	65.0	19	146.2	
	実績	18	19	105.6	19	100.0			
指標名2		報奨金の額の増減							
指標説明(式)		報奨金の額の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0	360000	100.0	
	実績	359960	358400	99.6	359700	100.4			

【効率性】

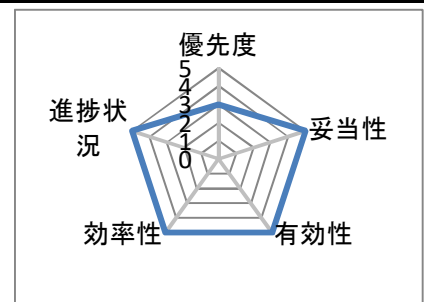
指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報奨金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
金	目標	18947	24000	126.7	20000	83.3	18947	94.7	
	実績	19998	18863	94.3	18931	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	5
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	報償金の予算額を配分することでコスト節減を図っている。	5
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	住民の高齢化により、作業されない箇所が増えつつある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会及び実施回数の増加を促進する。

配点	32.5
総合評価	28.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103020400		事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)	予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	宮崎 晃
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		河川法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	操作件数	件	1	2	0	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.208	0.292	140	0.212	73	0.172	81	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,976,456	2,540,468	129	1,941,389	76	1,638,945	84	
	事業費	3,333,636	3,632,556	109	3,504,947	96	4,185,000	119	
	合計	5,310,092	6,173,024	116	5,446,336	88	5,823,945	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,893,000	3,893,000	100	3,893,000	100	3,893,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,417,092	2,280,024	161	1,553,336	68	1,930,945	124	
	合計	5,310,092	6,173,024	116	5,446,336	88	5,823,945	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	1	2	200.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	職員数の減により、排水操作が担当課のみでは実施できず、他課からの応援に頼っている。

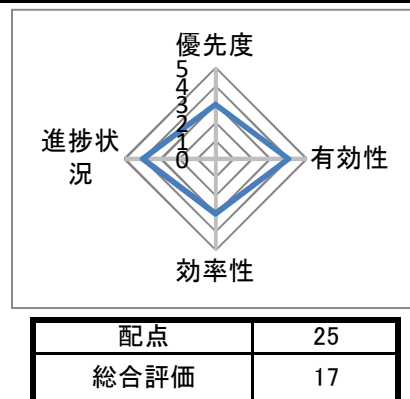
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	担当課のみでの対応ではなく、全庁で対応することが必要である。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	災害時には、道路パトロールや災害対応により人員が確保できない為、全庁的な対応が必要。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持



事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050104010100		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	景観形成事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	名倉 禎庸
取組み事項		特性を活かす景観をつくる		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.096	0.220	229	0.072	33	0.100	139	
	臨時職員	0.100		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,375,440	2,005,220	146	906,789	45	1,099,161	121	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,375,440	2,005,220	146	906,789	45	1,099,161	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,375,440	2,005,220	146	906,789	45	1,099,161	121	
	合計	1,375,440	2,005,220	146	906,789	45	1,099,161	121	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

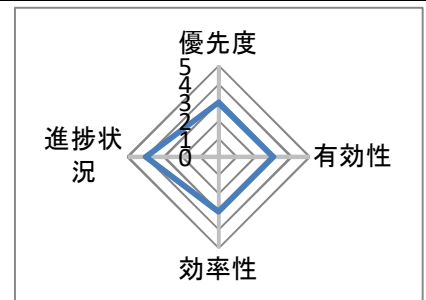
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	3
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模建築物等については、審査されているが、対象建築物が少ない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	景観行政に関する普及・啓発の方法を検討が必要。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	050104020100		事業の種類		2
年度	1	事務事業名	公園施設維持管理事業	予算事業名	公園施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	名倉 禎庸	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		公園、緑地を整備する		実施計画への記載		有	主要事業の指定
実施計画事業名		都市公園整備事業			都市公園維持修繕事業		
		中央公園テニスコート芝張替修繕			公園内トイレ改修工事		
根拠法規及び関連法規		公園法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	公園の管理箇所数	箇所	41	41	41	42

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.244	0.332	136	0.281	85	0.292	104	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.120	300	0.032	27	
支出内訳	人件費	2,359,664	2,948,588	125	2,757,299	94	2,585,369	94	
	事業費	54,498,976	51,478,369	94	49,823,773	97	41,428,000	83	
	合計	56,858,640	54,426,957	96	52,581,072	97	44,013,369	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	56,858,640	54,426,957	96	52,581,072	97	44,013,369	84	
	合計	56,858,640	54,426,957	96	52,581,072	97	44,013,369	84	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公園1箇所あたりの維持管理コスト							
指標説明(式)		維持管理費/管理公園数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	1349024	1321121	97.9	1293390	97.9	986380	76.3	
	実績	1329243	1255569	94.5	1215213	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

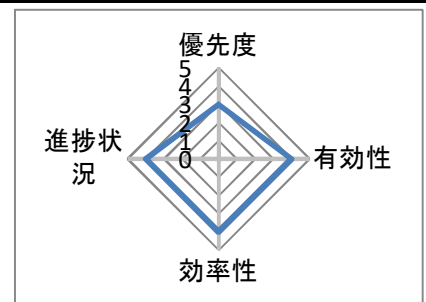
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持している。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公園の維持管理を地元関係団体等へ委託しているが、辞退される団体が増えている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公園施設の長寿命化に向け事業を進める。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	公園施設の長寿命化計画を策定し、維持・更新を効率よく図る。
見直し事項	
新規事項	長寿命化計画策定のため社会資本整備交付金の交付手続きを行う。
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		050104030100		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	緑化推進事業	予算事業名	緑化推進事業	優先度	3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	松本 秀文	担当者名	大谷 健人		
取組み事項		緑化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定		無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	講習会開催回数	回	3	3	2	
	市内花苗植栽数	株	4754	4674	4596	
	つばき園の清掃回数	回	5	5	5	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.332	0.400	120	0.404	101	0.360	89	
	臨時職員	0.492	0.212	43	0.012	6	0.012	100	
支出内訳	人件費	4,229,416	3,930,368	93	3,390,869	86	3,065,925	90	
	事業費	1,290,820	1,355,280	105	1,344,640	99	1,000,000	74	
	合計	5,520,236	5,285,648	96	4,735,509	90	4,065,925	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,520,236	5,285,648	96	4,735,509	90	4,065,925	86	
	合計	5,520,236	5,285,648	96	4,735,509	90	4,065,925	86	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		緑化講習会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0		0.0	
	実績	3	3	100.0	2	66.7			
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	5100	5000	98.0	4000	80.0	3200	80.0	
	実績	4754	3147	66.2	3118	99.1			

【効率性】

指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	27	25	92.6	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	25	100.0	25	100.0			

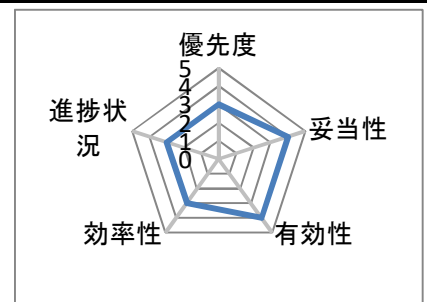
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民団体の花と緑の協会に委託し、継続的に植栽管理を行っている。また、若年世代を対象としたガーデニング講習を開催し、多くの小学生の参加を得た。	4
	市民サービス	多様な種類の花苗の配布や市民ニーズの高い講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	花と緑の協会会員が管理する花壇、プランターの一部に、高齢化により植栽管理が困難な場所が発生してきている。	3
	手段の最適性	これまで主に花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業体制を検討する必要がある。(県のアドプト制度はある)	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちなみガーデンの個人宅庭の参加数が減少している。庭主の数を増やすとともに質の向上についても考える必要がある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	花と緑の協会が解散となりボランティア同士がつながるための連絡会の組織化が必要である



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	花と緑の協会が解散となりボランティア同士がつながるための連絡会の組織化

配点	32.5
総合評価	22

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	花と緑の協会が解散となりボランティア同士がつながるための連絡会の組織化及び普及啓発				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050105010100		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	公債費元金償還事業	予算事業名	公債費元金償還事業	優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之	担当者名 松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民				
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ				

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道事業債元金償還(公共分)	円	1,442,873,345	1,408,506,963	1,380,575,577	1,382,890,000

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員			-		-	0.094	-	
支出内訳	人件費	1,297,272	1,261,820	97	1,261,509	100	1,386,529	110	
	事業費	1,442,873,345	1,408,506,963	98	1,380,575,577	98		0	
	合計	1,444,170,617	1,409,768,783	98	1,381,837,086	98	1,386,529	0	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	705,300,000	641,200,000	91	592,400,000	92		0	
	その他	107,373,849	104,426,191	97	52,319,204	50		0	
	一般財源	631,496,768	664,142,592	105	737,117,882	111	1,386,529	0	
	合計	1,444,170,617	1,409,768,783	98	1,381,837,086	98	1,386,529	0	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

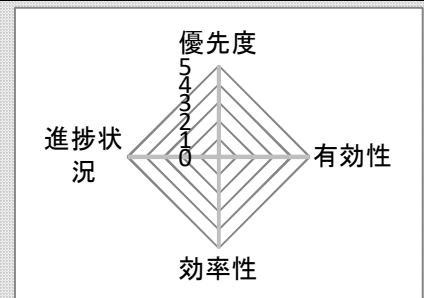
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050105010200		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	公債費利子償還事業	予算事業名	公債費利子償還事業	優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之	担当者名 松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民				
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ				

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道事業債利子償還(公共分)	円	304,465,842	267,746,974	233,948,222	212,652,000

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員			-		-	0.094	-	
支出内訳	人件費	1,297,272	1,261,820	97	1,261,509	100	1,386,529	110	
	事業費	304,465,842	267,746,974	88	233,948,222	87		0	
	合計	305,763,114	269,008,794	88	235,209,731	87	1,386,529	1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	305,763,114	269,008,794	88	235,209,731	87	1,386,529	1	
	合計	305,763,114	269,008,794	88	235,209,731	87	1,386,529	1	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

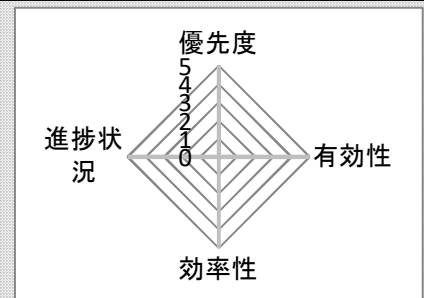
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050105010300		事業の種類		9	
年度	1	事務事業名	公債費元金償還事業	予算事業名	公債費元金償還事業	優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之	担当者名	松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民					
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道事業債元金償還(農集分)	円	231,396,614	240,030,809	252,135,729	265,780,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			農集特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100		
	臨時職員			-		-	0.094	-		
支出内訳	人件費	988,552	964,460	98	965,909	100	1,086,649	113		
	事業費	231,396,614	240,030,809	104	252,135,729	105		0		
	合計	232,385,166	240,995,269	104	253,101,638	105	1,086,649	0		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債	103,500,000	102,200,000	99	109,300,000	107		0		
	その他			-		-		-		
	一般財源	128,885,166	138,795,269	108	143,801,638	104	1,086,649	1		
	合計	232,385,166	240,995,269	104	253,101,638	105	1,086,649	0		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

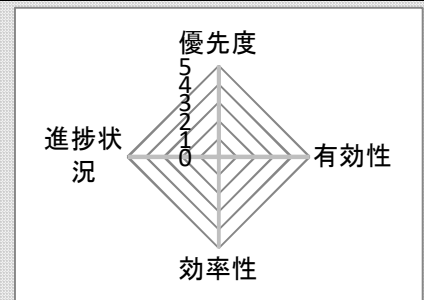
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果		総コスト

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050105010400		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	公債費利子償還事業	予算事業名	公債費利子償還事業	優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課	
施策名(中)		その他		担当課長	大西 博之	担当者名 松本 好弘
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		地方財政法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民				
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ				

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	下水道事業債利子償還(農集分)	円	65,259,141	60,314,146	55,090,708	51,479,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	農集特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-	0.094	-	
支出内訳	人件費	988,552	964,460	98	965,909	100	1,086,649	113	
	事業費	65,259,141	60,314,146	92	55,090,708	91		0	
	合計	66,247,693	61,278,606	92	56,056,617	91	1,086,649	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	66,247,693	61,278,606	92	56,056,617	91	1,086,649	2	
	合計	66,247,693	61,278,606	92	56,056,617	91	1,086,649	2	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

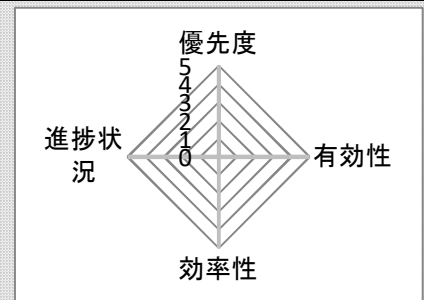
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	